

提 案 書

提案名 (25字以内)	ヨコハマ・フットボール映画祭2017
グループ名 (25字以内)	ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

<p>横浜が日本サッカー発祥の地であることにちなみ、2011年2月にアジア初のサッカー専門映画祭としてスタート。(2013年以降はブリリア ショートショート シアターで開催)。 毎回、障害者サッカーを扱った作品の上映並びにトークショーを行っております。2016年は四肢損傷者のための競技“アンプティーサッカー”の体験会を開催。 2014年11月にはインドネシアで上映会、2015年6月には豊洲のフットサル場にて野外上映会を実施。 2015年動員実績 1000名</p>
ホームページ http://2016.yfff.org

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	行動計画策定
5月	作品募集&検討、スポンサー営業、寄付働きかけ (12月まで)
6月	会場利用申請
7月	体験会、野外上映会設営見積
8月	
9月	
10月	作品選定→字幕製作
11月	プレスリリース、ホームページオープン、その他プロモーションツール作成
12月	告知活動、住民、在勤者向け企画参加働きかけ
1月	イベント詳細調整 (2月まで)、保険申請
2月	開催
3月	精算、レビュー

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所 (6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (活動を行うことによる当地区への

効果) (8) その他、特徴やアピールする点

(1) 活動の内容

内容:

1. 障がい者サッカー (ブラインド、アンプティ) 体験会の実施
2. 野外上映会
3. フットサル大会
4. サッカー映画上映ならびにトークショー

(2) 活動の主催者及び参加者

主催者: ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会ならびにボランティアスタッフ

参加者: 横浜市内外のサッカーファン・サポーター、映画ファン、地域住民、観光客

障がい者サッカー体験会 200名

屋外上映 500名

フットサル大会 400名

(3) 活動を実現するための方法

上映作品募集検討 上映許諾交渉 字幕翻訳制作 トークイベント企画出演交渉

会場利用許諾申請 屋外設置物調整 保険申請

体験会主催者のとの調整 イベント要綱調整

告知用ツール制作 プレスリリース パブリシティ、取材働きかけ

チラシ、ポスター配布

参加者募集要項検討 参加窓口作成 (チケット販売、受付窓口設置)

ボランティアスタッフ募集・面接・レクチャー 設営 運営 記録

精算 報告書作成

(4) 時期

2017年2月中旬の週末2日間

(5) 場所

上映: ブリリア ショートショート シアター

体験会、野外上映: 美術の広場公園、高島中央公園など (調整中)

(6) 当地区で活動を行う理由

ヨコハマの開放的かつ先進的なイメージをアピールするのに相応しい街であること

ブリリアショートショートシアターや公園、文化施設、商業施設などの充実

市内外エリアからのアクセスの良さ

(7) エリアマネジメントの効果

エリア外からの流入を促進し、ショッピングや飲食店への売り上げの貢献

住民・勤務者向けのフットサル大会、障害者サッカー体験会、上映会の実施

(8) その他、特徴やアピールする点

住民への参加機会提供

忙しいサッカーファンのためにサッカー映画を一挙に上映!

サッカー観戦や、プレーが忙しいサッカーファンのために、最新のサッカー映画を中心に、過去の名作を織り交ぜつつ、上映しています。プレイヤーもの、コーチもの、サポーターもの、フィクション、ドキュメンタリーなど、ジャンルを問わずにサッカーファンが本当に楽しめる作品を上映しています。

■選手伝記ドキュメンタリー
『メッツ』
『TESE』

■チームドキュメンタリー
『クラスオブ92』(マンチェスター・ユナイテッド)
『サントス 〜美しいブラジリアン・サッカー』(ネイマール、ペレ)
『クラシコ』(松本山雅也vs長野パルセイド)
『ネクスト・ゴール! 世界最速のサッカー代表チーム 0x0319の挑戦』(米領サモア代表チーム)

■障がい者サッカードキュメンタリー
『アイ・コンタクト』(ろう者サッカー-日本代表)
『プライド in フルー』(知的障がい者サッカー-日本代表)

■サポータードラマ
『ユルネバー・キミはひとりじゃない〜』(リーグ)

■選手やコーチ
『リトル・ライオン〜明日へのゴールへ〜』(現代)
『ベツカムに憑いて』(キーアナイトレイ)
『裸足の夢』(東ティモールで活躍する韓国人コーチ)
『僕らのサッカーチーム』(ベトナム少年サッカー大会)

■史実をドラマ化
『ユナイテッド ミコンヘンの悲劇』(マンチェスター・ユナイテッド)
『ユツボ先生と僕らの革命』(1874年頃ドイツ)
『勝利への脱出』(第2次世界大戦下ドイツ捕虜収容所)
『サッカーに裏切られた天才、エレノ』(1940年代ブラジル)

■コメディ
『リーグを100倍楽しく見る方法!!』
『オフサイド・ガールズ』(イスラムの戒律とサッカーファン)
『ローカル・サッカー・クラブのヒーロー』(独善的オーナーの暴走)
『ルド and クルシ』(自堕落な選手の騒動)



all rights reserved by YFFF 2

ヨコハマフットボール映画祭



ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会
実行委員長 福島成人
narito16@gmail.com 090-9648-5837

国内未公開のサッカー映画をボランティアが字幕製作して上映

all rights reserved by YFFF 2

ヨコハマ・フットボール映画祭では、国内未公開のサッカー映画の秀作に、海外の製作者の許可を得て、ボランティアスタッフの手がかりで字幕を制作し上映しています。

■アジア
インドネシア 『ガラダ19』
インドネシア 『ジャカルタ・コネクション-サッカーを喰った男たち』
インドネシア 『ロミオ&ジュリエット-フーリガンの恋-』
イラン 『テヘラン 25時』

■ヨーロッパ
イギリス 『ソカ・アフリカ-欧州移籍の夢と現実-』
ドイツ 『フットボール・アンターカバ-女子サッカー-イスラム選証記』
ドイツ 『狂熱のサンクトパウリスタリアム』
ドイツ 『ラブ・ゼリン お姫様と11人の選手たち』
イタリア 『ロスト・ワールドカップ-消えた1942年大会-』
ポランド 『クレムリンに立ち向かった男たち ポーランド代表 バスト4の真実』
セルビア 『モンテビデオ -夢のワールドカップ』

■北米
アメリカ 『二人のエスコル』
■南米
ブラジル 『フラメンゴ×フルミネンセ』



all rights reserved by YFFF 5

素晴らしいサッカー映画を世に広めるためにYFFFアワードを贈呈

all rights reserved by YFFF

ヨコハマ・フットボール映画祭では、優れたサッカー映画を多くの方にご覧いただくために、前年に国内で公開されたサッカー映画を対象に、YFFFアワードを贈呈しています。

作品のクリエイターや出演者だけでなく、作中のキリカガも対象としています。

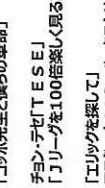
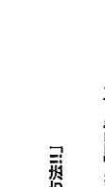
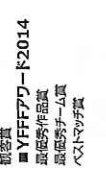
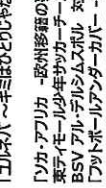
■YFFFアワード2015
最優秀作品賞 『ガンバルとつるせ』
最優秀チーム賞 『アメリカが勝つモアチーム』
最優秀監督賞 『ネクスト・ゴール!』
最優秀特別賞 『リトル・ライオン』
最優秀新人賞 『ユルネバー・キミはひとりじゃない〜』
ベストメイク賞 『ユルネバー・キミはひとりじゃない〜』

■YFFFアワード2014
最優秀作品賞 『ソカ・アフリカ-欧州移籍の夢と現実-』
最優秀監督賞 『ソカ・アフリカ-欧州移籍の夢と現実-』
最優秀チーム賞 『BSV アル・テラムスバル 対 イラン代表チーム』
最優秀特別賞 『フットボールアンターカバ-女子サッカー-イスラム選証記』
最優秀新人賞 『ジョージ・ドラグァイ-スマイル・アゲイン』
最優秀新人賞 『裸足の夢』

■YFFFアワード2013
最優秀作品賞 『ユナイテッド ミコンヘンの悲劇』
最優秀監督賞 『ユナイテッド ミコンヘンの悲劇』
最優秀特別賞 『エレノ・チ・フレイトス 『エレノ』』
最優秀新人賞 『名探偵コナン 11人目のストライカー』
最優秀新人賞 『ユツボ先生と僕らの革命』

■YFFFアワード2012
最優秀特別賞 『アイ・コンタクト』
最優秀特別賞 『プライド in フルー』
最優秀作品賞 『クラシコ』
最優秀監督賞 『クラシコ』
最優秀特別賞 『ネクスト・ゴール!』
最優秀特別賞 『ユルネバー・キミはひとりじゃない〜』

■YFFFアワード2011
最優秀特別賞 『アイ・コンタクト』
最優秀特別賞 『プライド in フルー』
最優秀作品賞 『クラシコ』
最優秀監督賞 『クラシコ』
最優秀特別賞 『ネクスト・ゴール!』
最優秀特別賞 『ユルネバー・キミはひとりじゃない〜』



3

all rights reserved by YFFF

ハンディキャップサッカー、マイリテイプレーヤーにスポットを

- YFFF2015
・FIFA史上初トランスジェンダープレーヤー・ジャイヤ・サエリア選手を招聘、日本のファンとの交流やメディアへのインタビューを実施。
視覚障がい者向け音声ガイド上映を実施。「ガンバレとかうるせえ」
- YFFF2014
・ブライントサッカー日本代表・落合啓士選手と知的障害者サッカー日本代表・加藤隆生選手のクロストークを実施
視覚障がい者向け音声ガイド上映を実施。「ブライドinブルー」
ブライントサッカー支援古本プロジェクトを実施
- YFFF2013
・電動車いすサッカー日本代表 永岡真理選手をゲストとして招き、トークショーを実施。
視覚障がい者向け音声ガイド上映を実施。「コッホ先生と僕らの革命」
- YFFF2012
・ブライントサッカー日本代表・落合啓士選手をゲストとして招き、トークショーを実施。
視覚障がい者向け音声ガイド上映を実施。「オフサイド・ガールズ」
- YFFF2011
・ろう者サッカー女子日本代表・御園裕未選手をゲストとして招き、トークショーを実施。
最優秀プレーヤー賞を贈呈



チャリティー募金により、被災地でアニメ映画上映会を実施



「被災地の子どもたちにも、最新の映画を楽しんでもらいたい」とのちよんまげ隊長ツンさんの呼びかけに、2015年の全国のアウトボール映画祭の会場で**157,211円**の募金が集まりました。
この募金により、**8月15日宮城県牡鹿半島と、翌16日福島県南相馬で新作アニメ『シンバッド 空飛ぶ姫と秘密の島』**を上映いたしました。

40名のボランティアスタッフによる賑やかな屋台村とともに、**地元の小中学生合計130人**に夏休みの思い出となる一日を過ごしていただきました。ご協力ありがとうございました。

ココハマ・フットボール映画祭では、今後も全国の映画祭会場にお越しいただいた方々のご協力を得て、東北の子供たちに楽しい映画を届けたいと思っております。

上映以外の催しでもサッカーの楽しさを提供

映画館のロビーでは、サッカーをテーマにしたアート作品の展示や、おぼきサッカーの体験会などを展開。上映以外の時間でも様々なサッカーの楽しみを紹介しています。



2011年のスタート以来、着実にスケールアップを続けています

2011年に開催3日前にチケットソールドアウトという、サッカーファンの猛烈な期待で迎えられた映画祭は、その後も着実な歩みを続けてまいりました。

	2011	2012	2013	2014	2015
会場	3校 ジャックアント・パ ティ	3校 ジャックアント・パ ティ	3校 ジャックアント・パ ティ	3校 ジャックアント・パ ティ	全国10か所
日程	2月19日(土)	2月19日(日) 25日(土)26日(日)	2月11日(金) 16日(土)17日(日)	2月 8日(土)11日(日)2 9日(火)	1月17日- 6月13日
上映作品数	4本	7本※	7本	9本	13本
内 劇場初公開	1本	3本※	3本	4本	3本
上映コマ数	4回	10回	13回	18回	41回
動員	500名	1000名	1200名	1000名	3300名
	3日前に全上映 ソールドアウト	※1本は短編		記録的な大動員 初めて前年比減	Japanツアー 敢行



収 支 予 算 書

グループ名 ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会

1 収入(自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項 目	金 額	説明(負担者及び負担方法等)
助成金(A)	500,000	
協賛金	240,000	協賛企業
チケット収入	400,000	参加者(会場運営費を控除しております。)
合 計 (B)	1,140,000	(B) ≥ (C)

2 支出(助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
上映作品調達費	8	40,000	320,000	
チラシポスター印刷費			110,000	チラシ 8万円(2万枚) ポスター 3万円(100枚)
チラシポスターデザイン費			50,000	
公式サイト制作・運営費			150,000	告知、作品募集フォーム
障がい者サッカー体験会実施費			200,000	
屋外上映用設備レンタル			240,000	
受賞者用トロフィー			70,000	
合 計 (C)			1,140,000	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) × 4/5 ≥ (A)